

令和1年

10/5
(土)



12/1
(日)

猫 たち 展

アートになった



今も昔も
猫が好き

- 1. 苴屋光溪《アルチンポルドに捧ぐ五題の内 猫》2013年(部分)
- 2. 高橋弘明《縁と遊ぶ白猫・黒猫》1929~1932年頃(部分)
- 3. 布山幸子《笑福猫》2014年
- 4. 豊原田周《東けい三十六会席 柳ばしそめ》1878年頃(部分)
- 5. 竹久夢二《「女十題」黒猫》1938年(部分)

開館時間／午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 入館料／一般500円・大高生300円・中小生200円
 休館日／10月7日(月)15日(火)21日(月)28日(月)
 11月5日(火)11日(月)18日(月)25日(月)
 主催／南アルプス市立美術館
 監修／中右瑛(国際浮世絵学会常任理事)
 企画協力／E.M.I.ネットワーク
 後援／山梨日日新聞社、山梨放送、テレビ山梨、朝日新聞甲府総局、
 毎日新聞甲府支局、読売新聞甲府支局、産経新聞甲府支局、
 時事通信社甲府支局、山梨新報社、エフエム富士、
 エフエム甲府、日本ネットワークサービス、関西CATV、
 白根ケーブルネットワーク、富士川CATV



南アルプス市立美術館
 MINAMI ALPS CITY MUSEUM OF ART
 〒400-0306 山梨県南アルプス市小笠原1281
 TEL 055-282-6600 FAX 055-282-6601

アートになった 猫たち展

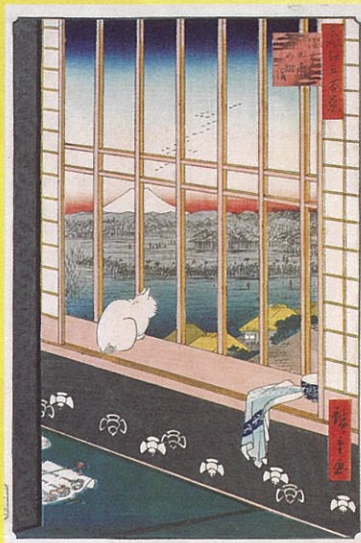
今も昔も猫が好き

猫の文房具に、猫のゲーム、猫ブログなど、見まわすと巷には猫グッズがあふれ、今、空前の猫ブームを迎えていると言われますが、200年前の江戸時代から猫ブームは存在していました。

猫が海を越えて日本にやってきたのは奈良時代と言われます。その後、天皇や貴族階級のペットとして紐でつながれて飼われていましたが、江戸時代初期に猫は人々にとって身近なものになり、庶民の日常生活に溶け込んでいきました。

幕末に猫好きで知られる歌川国芳とその弟子たちの活躍で、猫は時に愛らしく、時に気高く神秘的な姿で美人画や戯画に登場し、女性と戯れる猫、踊る猫、芸をする猫、猫顔で人気役者になりきる愛嬌たっぷりの姿、恐ろしげな化け猫も頭に手ぬぐいを被って踊るユーモラスな姿で描かれるなど、江戸の庶民に広く親しまれました。また、近代絵画では竹久夢二、藤田嗣治、水野年方、海外ではピアズリーをはじめとするアールヌーボーの画家たちが自らの作品に猫のモチーフを取り入れました。

本展では、浮世絵蒐集家として著名な中右瑛氏が長年にわたり蒐集した浮世絵から近代絵画、現代アート、海外作家にいたるまで幅広くアートに登場する猫たちを紹介し、人々を惹きつけてやまない猫たちと人間との深い関わりをお楽しみいただけます。



1



2



8



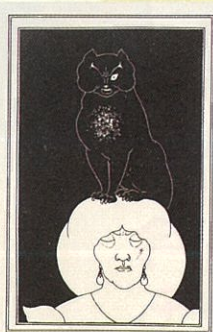
7



3



4



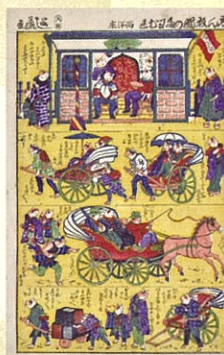
9



5



6



10

- 1.歌川広重《名所江戸百景 浅草田圃西の町路》1857年
- 2.竹久夢二《黒猫を抱く女》(柳屋版) 1920年
- 3.大野隆司《しっぽのない猫たち》1999年
- 4.小林清親《猫と提灯》1877年
- 5.正木卓《楽団の猫》2016年

- 6.宇田川民生《微笑み返し》2007年
- 7.夏目漱石《吾輩ハ猫デアル》上編 初版(装丁 橋口五葉)1905年発行
- 8.三代歌川豊国《古猫の径》1861年
- 9.オーブリー・ヴィンセント・ピアズリー《黒猫》1894年頃
- 10.歌川芳藤《志ん板猫のたわむれ 西洋床》1868~87年頃

関連イベント

🐾 美術講演会 「黒猫奇譚 今も昔も猫好きな芸術家たち ～夢二・漱石から国芳まで～」

日 時:10月12日(土) 午後2時～(開場:1時30分～)
講 師:中右瑛(国際浮世絵学会常任理事)
場 所:美術館研修室
定 員:60名(申込不要 先着順)
参加料:美術館入館料に含む

🐾 美術館で遊ぼう! 動くネコの絵をつくろう!

日 時:10月19日(土)
午前10時～12時・午後1時～4時
場 所:美術館研修室
参加料:無料(申込不要 一部有料)

🐾 中学生によるアートレクチャー

日 時:11月2日(土) 午前10時～・午後2時～
場 所:美術館展示室
参加料:美術館入館料に含む

🐾 ダンボール猫をつくろう

日 時:11月16日(土) 午前10時～午後4時
昼食は各自ご用意ください。
講 師:本杉琉(現代美術作家)
場 所:美術館研修室
定 員:20名
(受付:11月1日(金)午前9時30分～
定員になり次第締切)
参加料:100円(別途入館料がかかります)

交通のご案内

●電車・バス JR中央線 甲府駅下車(バス利用35分)
山梨交通バスターミナル
西野経由小笠原下仲町行き「市立美術館」下車
十五所経由鮫沢営業所行き「戸田町」下車 徒歩10分

●自動車 県道42号線沿い
中央自動車道 甲府昭和I.C.より20分
中部横断自動車道 白根I.C.・南アルプスI.C.より5分

美術館公式HPはこちら
<https://www.minamialps-museum.jp/>



美術館公式facebookはこちら
<https://www.facebook.com/235851723615051>



南アルプス市立美術館
MINAMI ALPS CITY MUSEUM OF ART

〒400-0306
山梨県南アルプス市小笠原1281
TEL 055-282-6600 FAX 055-282-6601